

## 福島県の農業復興支援を目指したプロジェクト 大学オリジナルワインが「ふるさと納税」の返礼品に採用 ～ 埼玉県ふじみ野市における“県外商品”の取扱いは初～

文京学院大学・人間学部の学生が商品化を手掛けるオリジナルワイン「文京輪(ワ)イン」が、この度、埼玉県ふじみ野市の「ふるさと納税寄附金」の返礼品の一つとして選出されました。同商品は、福島県郡山市の果樹園とワイン醸造所と共同で2014年から生産・製造しているもので、ふじみ野市の返礼品は地域商品が多い中、県外商品が対象となるのは同市では今回が初めてとなります。

### 福島県郡山市で作ったオリジナルワイン

「文京輪イン」は、本学・人間学部コミュニケーション社会学科の中山智晴教授のゼミ生が中心となり、東日本大震災以降、風評被害や後継者不足に悩まされていた福島県郡山市の果樹園「菅野ブドウ園」で、学生たちがブドウ作りをサポートしたことから始まり、2014年にはそのぶどうを使い、ワイン醸造所「ワイン工房あいづ」(福島県)でオリジナルワインを製造し商品化しました。学生たちは、約7千平方メートルあるブドウ園で、草刈りや枝の剪定、収穫作業などを行っています。更には、埼玉県ふじみ野市で行われた「ふじみ野市産業まつり」をはじめ、様々なイベントに出向き、ワイン試飲による啓発プロモーションなども行ってきました。これら「文京輪イン」を含めた10年間にわたる活動が評価され、2016年2月には福島県郡山市から「まちづくりハーモニー賞」が本学に授与されました。



＜ブドウ園で草刈りを行う学生＞

### 埼玉県ふじみ野市の返礼品「文京輪イン」

今回、ふじみ野市の返礼品に選出されたオリジナルワイン「文京輪イン」の名称は、ワインを通じて人と人が繋がって欲しい(人の輪)との想いから学生たちによって名付けられました。また、ボトルに貼られたラベルには「菅野ブドウ園」がプリントされています。ふじみ野市では、本学の活動に賛同し、2016年からグリーンツーリズムとして学生と一緒に福島県の復興支援を実施しています。本学学生の活動主旨賛同と福島県の復興への応援の想いから、今回、「文京輪イン」を返礼品として採用しました。返礼品は、社会福祉法人人間東部福祉会 三芳太陽の家で販売されている「ふじみんサブレ」とセットで提供され、同市に対し1万円以上の寄附をした人が対象となります。



＜サブレとセットで提供されるワイン＞

#### ■ 返礼品の概要

事業者名： 有限会社本田ワイナリー「ワイン工房あいづ」(協力:文京学院大学)、  
社会福祉法人人間東部福祉会 三芳太陽の家

品名： 東北復興支援「文京輪イン」と「ふじみんサブレ」

内容： 赤ワイン1本(720ml)、サブレ2箱(1枚約10g 1箱10枚入り「プレーン・チョコ各1箱」ふじみん型のオリジナルケース入り)

返礼品に関するお問い合わせ先： ふじみ野市役所広報広聴課 蓮見 電話番号：049-262-9003

#### ＜ 文京学院大学について ＞

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。